



ご挨拶 委員長 宇田川みち子

みなさま、新年あけましておめでとうございます。
日頃より赤十字奉仕団の奉仕活動にご協力を賜り心から厚くお礼申し上げます。
昨年を振り返り見ますと、コロナ禍から3年が過ぎ、従来の活動にすっかりとはいえませんがほぼ全体的に取り組むことができました。最近では、武蔵野市主催「敬老福祉の集い」の加藤登紀子コンサートでの共催も実現され、とてもうれしく思いました。
また、NT(日本赤十字社東京都支部発行の冊子)でも取り上げていただき、武蔵野市赤十字奉仕団がすばらしい活動をしていることの証であると思います。
秋の研修では団員が必要とされる地域への協力ができるようにとの思いで、炊き出しや釜の組み立て訓練等にも取り組んでいます。
今年は結成75周年を迎えることとなります。奉仕団のパワーと「笑顔で楽しい奉仕活動」をモットーにがんばって参ります。



<NT Vol38「赤十字 Supporters」

掲載写真>

武蔵野市赤十字奉仕団の活動 Topix



短期救急法講習会

令和5年2月2日(木) 午前・午後に総合体育館視聴覚室で、身近なもの等を使った救急法の研修を行いました。参加人数は48名でした。
三角巾(四角い布で代用可能)を使っての応急手当のやり方です。一般的な三角に折って腕や手を吊るす使い方だけではなく、くずれにくいたたみ方や 解けにくい本結びの結び方を練習し、それを包帯の代わりにしてケガをした手や肘・膝・額や頭の患部の止血、足首のねん挫の固定などに使用したり、二人一組で相手に手当を施す練習をしました。応用範囲が広いので、急なケガや出血の時に知っている役に立ちます。

わんぱく相撲おさしの場所

5月28日(日)に総合体育館で奉仕団員28名が参加し、ちゃんこ鍋とアルファ米※1の炊き出しを行いました。1階体育館横でつくり、2階メインアリーナ入り口で、主催者の武蔵野青年会議所の方々といっしょに配付しました。コロナウイルス感染症対策に配慮しての活動となりましたが、子どもやご家族など、みんな喜んでくれてとてもうれしかったです。



※1 炊き立てご飯を急速乾燥したもの

世界赤十字デー記念街頭キャンペーン

赤十字の創始者、アンリー・デュナンの誕生月である5月は「赤十字運動月間」です。



武蔵野市でも、5月8日(月)に地区長(武蔵野市長)とともに奉仕団員40名が、吉祥寺、三鷹、武蔵境の3駅にて、活動をPRするキャンペーンを実施しました。

また、月間中に、赤十字の活動資金にご協力いただくために奉仕団員が募金活動を実施しました。

寄附金額

4,425,722円(12月時点)

はらっぱ防災フェスタむさしの

記録的な暑さとなった令和5年の夏、8月26日(土)、昨年に引き続き防災フェスタにて奉仕団のアルファ米炊き出しが行われました。

例年どおり、自衛隊の方々が作るおいしいカレーとアルファ米の提供をしました。スタンプラリーに参加すると、カレーの引換券がもらえるルールが導入され、また、時間帯を区切ることで、列が長くなったり、人が密集するリスクを避けることができました。

コロナ禍以前より少ない人数での奉仕団の参加でしたが、無事1000食を市民の方々に提供できました。



秋季研修（炊出し訓練）

11月8日(水)市役所駐車場において、炊き出し釜の組み立て・火入れ等の研修を行いました。参加者は防災課職員3名、都立武蔵高校附属中学校の生徒6名及び奉仕団員32名です。最初に会議室でハイゼックス※2への袋詰め実技、炊き出し釜等の説明を受けました。その後駐車場に移動し、アルファ米にお湯を入れて炊く実演、3班に分かれての釜の組み立て・ガス器具接続・火入れ体験等を行いました。ハイゼックス炊飯(米と同量の水があればOK)は沸騰したお湯に投入して30分かけて炊き上げました。またお湯を入れてから20分蒸らしたアルファ米をパック詰めしました。

青空の下、今回初めて釜の使い方を体験された参加者も多く、楽しく有意義な研修でした。



※2 耐熱、耐衝撃にすぐれ、災害時炊飯袋に使われる。

【団員募集中】 いっしょに奉仕活動をしてくださる方をご紹介します！！

【お問合せ】 武蔵野市健康福祉部地域支援課 Tel : 0422-60-1941

<その他の活動>

- ☆R5.1/25, 26, 4/20, 8/16, 17
市役所庁内での献血に協力
- ☆7/2 市民社協・七夕のつどいに協力(市民文化会館)
- ☆10~11月 赤い羽根共同募金 ちらし配付、
10/2 街頭募金(3駅)協力
- ☆10/21 あったかまつりに協力(エコリゾート)
- ☆10/22 市総合防災訓練参加(二小)
- ☆11/16 赤十字保育園ハイゼックス指導
- ☆12/1,5,7 歳末たすけあい・地域福祉活動募金街頭募金(3駅)協力 他

<令和5年度 奉仕活動>

奉仕先	内容
献血ルーム「タキオン」	原則週4回、午前・午後158回/年
のぞみの家	布巾の製作他
赤十字保育園	布おもちゃ(スカート)の製作
赤十字子供の家	ぞうきん、台布巾の製作

【武蔵野市赤十字奉仕団 広報委員会】

◎中村美都子、山中理英、山井春美、高橋多寿子、小林敦子、木下亜利(◎委員長)